

令和2年度生涯学習部研修会(飛騨地域)報告

日時：令和3年3月7日(日) 10:00~13:00

形式：WEB研修会（ZOOM使用）

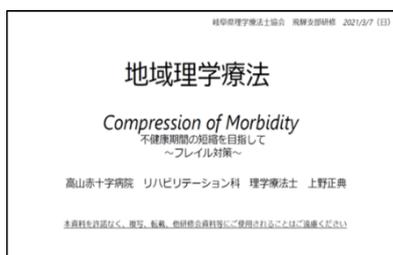
テーマⅠ：「Compression of Morbidity 不健康期間の短縮を目指して～フレイル対策～」

テーマⅡ：「小規模自治体との地域包括ケア連携と実践例の紹介」

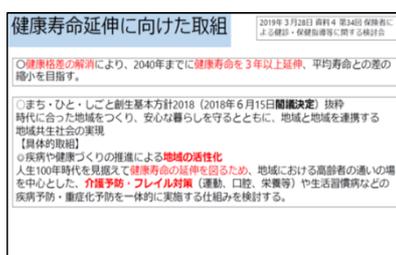
講師Ⅰ：上野 正典 先生（高山赤十字病院 リハビリテーション科）

講師Ⅱ：都築 晃 先生（藤田医科大学 医療科学部リハビリテーション学科）

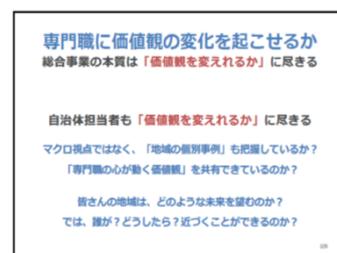
参加人数：24人(スタッフ含)



上野 正典先生によるご講演



都築 晃先生によるご講演



今回の研修会はWebでの開催となったこともあり、飛騨地域だけでなく岐阜県内の幅広い地域から多くの会員の方にご参加をいただきました。

まず、一人目の講師である上野先生の講義では、～不健康期間の短縮を目指して～をテーマにフレイルについての概要（身体的フレイル・認知的フレイル・社会的フレイル）から、評価方法に関しては1つ1つデータを出しながらわかりやすく説明していただきました。また、フレイル対策として「栄養」「運動」「つながり」の3つの側面についても詳細に講義いただき、とても理解が深まりました。

二人目の講師である都築先生の講義では、先生が実際に関わっている愛知県豊明市の総合事業での活動内容をご紹介頂きました。市で行っている近年の取り組みや介護サービスの利用状況（給付費や1年後重症化率など）の分析、多職種で行っている合同ケアカンファレンスなど非常に興味深い内容でした。また、市や医療・介護従事者だけでなく、地域にある協同組合、民間サービスの活用なども取り入れ活動されている事に驚き、大変勉強になりました。

最後に、貴重な時間を割いてご講演頂きました上野先生、都築先生をはじめ、賛助会員の皆様、本研修会に携わっていただいた生涯学習部スタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

生涯学習部 古田 裕之